

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年3月10日
札幌市立手稲中央小学校

1 本年度の重点目標

子ども一人一人が『自分が大切にされている』と実感できる学校づくり

「考えよう」「やってみよう」「響かせよう」～自ら学ぶ力と認め合う心の育成～

2 本年度の経営方針

1. 学ぶ力づくり 2. 豊かな心づくり 3. 健やかな体づくり 4. 信頼される学校づくり

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	
学ぶ力の育成	授業改善と研修の充実を図る取組	A	ブロックごとの授業づくりや研修会を行ったことで、子どもたちが自ら学ぶ力を高めるための手立てを考えたり、実践したりすることができた。子ども主体の学びにしていけるために、相互承認が高められるような学級づくりと、家庭での学習の質を高める取組を進めていく。	A	A	
	学習習慣と学習スキルを身に付けさせるための取組	A		A	A	
	ICTを活用した学習指導を実現するための取組	A		子どもの学びにつながるICT活用について情報共有を行えた。子ども自身が端末の使い方を振り返る取組や、ルールの指導を徹底する取組を行っていく。	A	A
	特別支援教育の充実を図るための取組	A		特別な教育的支援を要する児童を集約し、教育相談につなげることができた。情報共有やミニ研修などで、困り感がある児童への組織的対応を進めていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	子どもたちのタイピングの速さから、活用が進んでいることが分かる。ICTの使い方へのルールをしっかりと守りながら今後も活用して行ってほしい。					
豊かな心の育成	学校生活に対する自主的、実践的、協力的な態度を育てる取組	A	すくたんの結果によると他者からの受容感が高まっている。このことから、様々な場面での異学年交流を通して、豊かな心を育むことができています。来年度は、委員会活動をより充実させることで、学校をよりよくしようとする自主性を育てていきたい。読書に関しては、読書に親しむ子とそうでない子の差が大きいので、図書ボランティアの方々や図書委員会と連携して読書推進の取組を進めていく必要がある。	A	A	
	規律を守り、お互いを認め合う心、思いやる心、よりよい学校を築こうとする態度を育てる取組	A		A	A	
	読書を推進する取組	B		A	A	
学校関係者評価委員による意見	活字離れにより、想像力もすぼんでしまう心配がある。漫画や動画などの完成されたイメージではなく、自分の頭の中でイメージを膨らませる良さを味わわせてほしい。					
健やかな体の育成	子どもたちの運動やスポーツへの興味・関心を高め、体力向上を図る取組	A	全国体力・運動能力調査の結果から、男女とも総合平均値が全国、札幌市の数値を上回っている。ここ数年の経過を見ても向上傾向にある。引き続き、休み時間の外遊びが活発になるような企画や手立てを推進していく。年間を通じた保健指導と食指導により、知識と実践力を育てることができた。実際の実践場面となる家庭との連携の強化を進めていきたい。	A	A	
	自分の身体に関心をもち、健康に生活するための知識と実践力を育てるための取組	A		A	A	
学校関係者評価委員による意見	エネルギーがある子どもが多いので、発散できる場所や機会を今後も意図的につくって行ってほしい。					
信頼される学校の創造	事故、災害等に対する迅速な対応と子どもの安全確保に関わる取組	A	様々な想定をした避難訓練や、児童への安全への啓発・意識付けを適宜行うことができた。登下校の安全面の指導呼びかけを継続的に行っていく。	A	A	
	いじめ及び不登校を未然に防ぎ、適切に対応するための取組（環境づくり、マニュアルの作成と運用、アンケート、面談、研修の実施等）	A		「いじめ防止基本方針」に基づき、毎月いじめ防止対策委員会を実施して情報を共有した。担任、学年主任、担任外、養護教諭、SC、相談支援パートナーなど様々な立場の職員が協力して児童の困りに対応した。過年度情報の整理を行い、確実に引継ぎができるようにシステムも見直した。研修も実施し対応力は向上しているが、一方で問題が複雑化・多様化し、対応案件は増えている。今まで以上に、保護者・地域・関係機関との連携を強化していく必要がある。	A	A
	安全で快適な学習環境の整備と、適切な予算執行を進めるための取組	A		教職員全体で市費予算の使い道を考えることができた。古い学校であるため保護者への理解が難しいところもあるが、今後も教職員間での連携を強固にして環境整備を行っていくことで解決したい。	A	A
	家庭や地域への情報発信と連携のための取組	A		各学年学級で適宜すぐるを活用した。時間割を毎週ホームページにアップする習慣を付け、発信することができた。次年度もICTを活用して行っていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	学習材料費やバス代などに関わって、学校独自に工夫をして保護者負担を引き下げる取組がとてよかった。引き続き、継続的に工夫して行ってほしい。					